ENVY

コンピューターの準備

コンピューターの準備
HP ENVY 15

改訂第 1 版：2011 年 11 月

初版：2011 年 11 月

製品番号：658370-292

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

ユーザー ガイド

HP では、当社製品が環境に与える影響を減らすための取り組みを行っています。この取り組みの一つとして、コンピューターのハードドライブ上の[ヘルプとサポート]に『ユーザー ガイド』および[ラーニング センター]を含めています。追加のサポート情報および『ユーザー ガイド』の最新版は Web サイトで参照できます。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1 ようこそ

この章では、以下の項目について説明します。

- 新機能
- 情報の確認

コンピューターをセットアップして登録する前に、コンピューターに AC アダプターを差し込み、外部電源に接続します。外部電源に接続された状態で、電源ボタンを押してバッテリの充電を開始し、画面の説明に沿って操作します。

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の作業を実行することが重要です。

1. 有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、24 ページの「ネットワーク」を参照してください。
2. リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成します。詳しくは、46 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。
3. コンピューター本体を確認します。13 ページの「コンピューターの概要」および 28 ページの「キーボードおよびポインティング デバイス」を参照してください。
4. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択して、コンピューターにすでに読み込まれているソフトウェアを確認します。

新機能

オーディオ

音量ダイヤル

ステレオのダイヤルと同様に、内蔵の音量ダイヤルでコンピューターのスピーカーの音量を調整します。

▲ スピーカーの音量を上げるには、ダイヤルを時計回りに回します。

または

▲ スピーカーの音量を下げるには、ダイヤルを反時計回りに回します。



HP Beats Audio

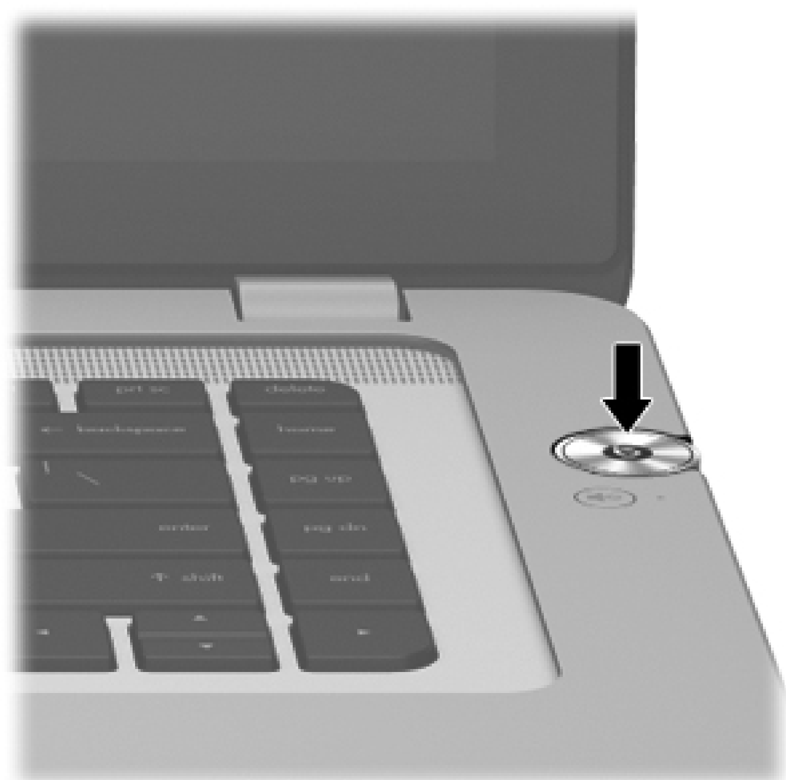
[HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ機能です。

[Beats Audio Control Panel]（HP Beats Audio コントロール パネル）の操作

[Beats Audio Control Panel]を使用すると、オーディオおよび低音設定を表示し、手動で調整できます。

[Beats Audio Control Panel]を開くには、以下のどちらかの操作を行います。

- 音量ダイヤルの中央にある[HP Beats Audio]ボタンを押します。

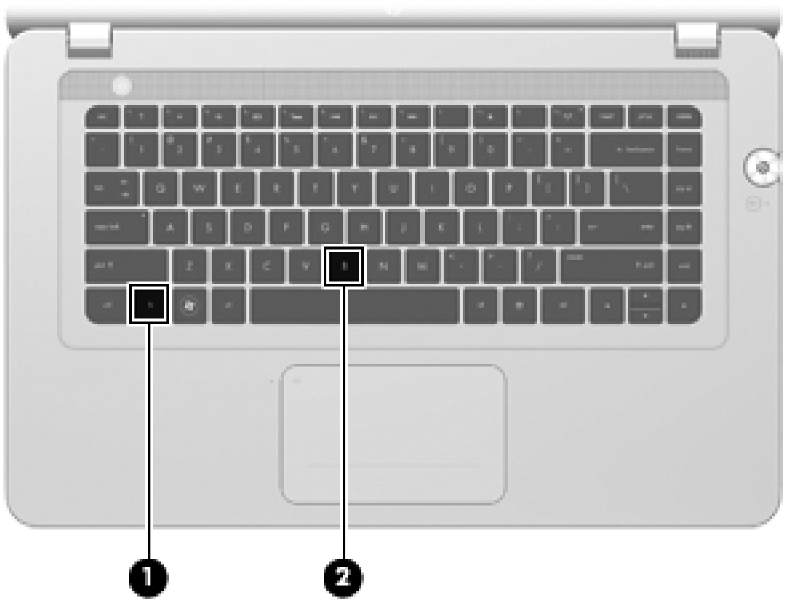


または

- [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[**Beats Audio Control Panel**]の順に選択します。

[HP Beats Audio]の有効化および無効化

▲ [HP Beats Audio]を有効または無効にするには、fn キー（**1**）および b キー（**2**）を押します。

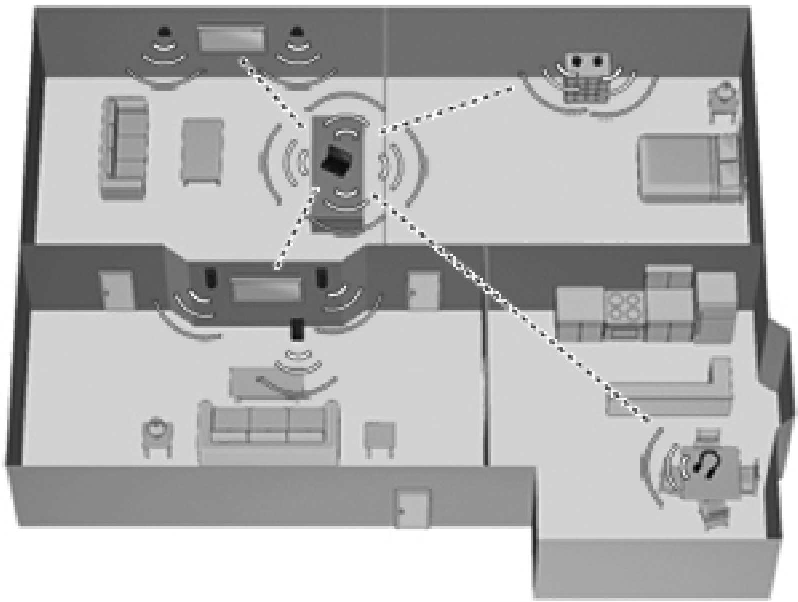


以下の表に、[HP Beats Audio]ホットキー（fn ＋ b キー）を押したときに画面上に表示される[HP Beats Audio]アイコンの意味を説明します。

アイコン	意味
	[HP Beats Audio]は有効に設定されています
	[HP Beats Audio]は無効に設定されています

HP Wireless Audio

[HP Wireless Audio]では、コンピューターのオーディオを互換性のある無線対応スピーカーまたはその他のオーディオ デバイスのセットにストリーミングすることで、自宅に無線サウンド システムをセットアップできます。自宅のサウンド システムに対応する無線オーディオ デバイスを追加するには、[HP Wireless Audio]を使用します。



注記： [HP Wireless Audio]は KleerNet テクノロジーを使用しており、他の無線テクノロジーとは互換性がありません。また、お使いの無線オーディオ デバイスが、[HP Wireless Audio]および KleerNet テクノロジーに対応している必要があります。対応する無線オーディオ デバイスは、http://www.hp.com/jp/またはお近くの販売店でご購入ください。

HP Wireless Audio Manager

[HP Wireless Audio Manager]を使用すると、自宅のオーディオ システムで無線対応デバイスを追加および削除したり、デバイスの名前を変更したり、複数のデバイスをグループ化したりできます。

注記： [HP Wireless Audio Manager]を起動する前に、無線デバイスがオンであること（f12 キーの無線ランプが白色に点灯していること）を確認します。

[HP Wireless Audio Manager]にアクセスするには、以下のどちらかの操作を行います。

▲ タスクバーの右端の通知領域にある[**HP Wireless Audio**]アイコンを右クリックしてから、[**起動マネージャー**]をクリックします。

注記： バッテリの寿命に不安がある場合は、[HP Wireless Audio]無効にして使用しないようにします。通知領域のアイコンを右クリックして、[**[HP Wireless Audio]を無効にする**]を選択してください。ソフトウェアを有効に設定しなおすには、通知領域のアイコンを右クリックして、[**[HP Wireless Audio]を有効にする**]を選択します。

または

▲ [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**HP Wireless Audio**]の順に選択します。

注記： [HP Wireless Audio]について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ソフトウェア内容の更新（一部のモデルのみ）

コンピューターがスリープ状態の場合、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーによって定期的にコンピューターのスリープ状態が終了されます。その後、開いているアプリケーションのうち、必要なものの内容が更新され、スリープ状態が再開されます。そのため、スリープ状態が終了した後すぐに作業を再開できます。更新がダウンロードされる間、作業の手を止めて待つ必要はありません。

▲ インテル スマート・コネクトを開いてこの機能を有効にするか、手動で設定を調整するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Intel]**→ **[Intel Smart Connect Technology]**（インテル スマート・コネクト・テクノロジー）の順に選択します。

さらに詳しい情報およびサポートされているアプリケーションの一覧については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

輝度調節機能付きバックライト キーボードおよび近接センサー

出荷時に有効に設定されている輝度調節機能付きバックライト キーボードの輝度調節機能を使用すると、近接センサー テクノロジーによって、ユーザーがコンピューターの前にいるかどうかがセンサーで検出され、キーボードが自動的に点灯します。近接センサーも出荷時に有効に設定されています。この近接センサーは、ユーザーがいる場所に応じて輝度調節機能付きバックライト キーボードを自動的にオンまたはオフにします。

▲ 輝度調節機能付きバックライト キーボード機能のオンとオフを切り替えるには、キーボードのバックライト操作キー（f5）を押します。



▲ 輝度の低、中、高を切り替えるには、上向き矢印キーまたは下向き矢印キーと組み合わせて、キーボードのバックライト操作キー（f5）を押したままにします。

▲ 近接センサーの設定を変更するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]** →**[HP Proximity Sensor]**（HP 近接センサー）の順に選択します。

HP CoolSense

[HP CoolSense]は、コンピューターが静止した状態にないことを自動的に検出し、パフォーマンスおよびファン設定を調整するため、コンピューターの表面温度が最適な状態に維持されます。

[HP CoolSense]がオフの場合、コンピューターの状態が検出されず、パフォーマンスおよびファンのオプションは出荷時の設定のままになります。そのため、[HP CoolSense]をオンにしたときに比べてコンピューターの表面温度が高くなる可能性があります。

[HP CoolSense]をオンまたはオフにするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[HP CoolSense]**の順に選択します。
2. **[On]**（オン）または**[Off]**（オフ）を選択します。

インテル ワイヤレス・ディスプレイ（一部のモデルのみ）

インテル ワイヤレス・ディスプレイを使用すると、市販の無線テレビ アダプター（別売）を使用してコンピューターの画面を無線でテレビに表示できます。無線アダプターの使用について詳しくは、アダプターの製造元の説明書を参照してください。

注記： ワイヤレス・ディスプレイを使用する前に、コンピューターの無線機能が有効になっていて、コンピューターのグラフィックスが省電力モードに設定されている必要があります。

AMD™ Eyefinity マルチディスプレイ テクノロジー

お使いのコンピューターでは、新しい AMD Eyefinity テクノロジーがサポートされています。AMD Eyefinity テクノロジーには以下の機能があります。

- コンピューターの HDMI コネクタおよび DisplayPort を使用して、最大 2 台の外付けディスプレイを接続できます。
- 最大 2 台の外付けディスプレイを大きい SLS（Single Large Surface）として、その全体に渡って画像を表示できます。

SLS のディスプレイ設定例

この例では、2 台の外付けディスプレイがコンピューターに接続されています。

注記： SLS の外付けディスプレイは、同一の解像度設定になっている必要があります。必要に応じて設定を変更してください。



画面の切り替え

表示画面切り替え操作キー（f4）を押すと、4 つの設定から 1 つを選択できるダイアログ ボックスが開きます。

- コンピューターのみ：外付けディスプレイへの表示をオフにして、画像をコンピューターのディスプレイのみで表示します。
- 複製：コンピューター本体のディスプレイに表示されている画像と同じものを、コンピューターに接続されている外付けディスプレイにも表示します。
- 拡張：コンピューター本体のディスプレイと接続されているすべての外付けディスプレイに渡って画像を拡張します。
- プロジェクターのみ：コンピューター本体のディスプレイの電源を切り、接続されているすべての外付けディスプレイに渡って画像を拡張します。

注記： ビデオの出力デバイスおよび初期設定の出力デバイスを管理するには、[AMD Catalyst Control Center]（ATI Catalyst コントロール センター）を使用します。

[AMD Catalyst Control Center]（AMD Catalyst コントロール センター）の使用

ディスプレイ出力を設定したり、AMD Eyefinity テクノロジーを管理したりするには、[AMD Catalyst Control Center]を使用します。

▲ [AMD Catalyst Control Center]を開くには、デスクトップを右クリックし、**[Graphics Properties]**（グラフィックスのプロパティ）をクリックします。

注記： [AMD Catalyst Control Center]について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	提供される情報
コンピューターのセットアップ手順のポスター	• 新しいコンピューターの機能 • コンピューター各部の名称
『コンピューターの準備』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します または **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• コンピューターの機能 • 以下の内容に対する各手順： ◦ 無線ネットワークへの接続 ◦ キーボードおよびポインティング デバイスの使用 ◦ ハードドライブおよびメモリ モジュールの交換またはアップグレード ◦ バックアップおよび復元の実行 ◦ サポート窓口へのお問い合わせ • コンピューターの仕様
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します または **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 電源の管理機能 • 以下の内容に対する各手順： ◦ バッテリ寿命の最大化 ◦ コンピューターのマルチメディア機能の使用 ◦ コンピューターの保護 ◦ コンピューターの手入れ ◦ ソフトウェアの更新
[ヘルプとサポート] [ヘルプとサポート]にアクセスするには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択します **注記：** お住まいの国または地域のサポート情報については、http://www.hp.com/support/でお住まいの国または地域を選択して、画面の説明に沿って操作してください	• オペレーティング システムの情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • トラブルシューティング ツール • サポート窓口へのお問い合わせ手順
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します または **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 規定および安全に関する情報 • バッテリの処分に関する情報

リソース	提供される情報
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します または **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します	● 正しい作業環境の整え方 ● 快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン ● 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』（日本以外の国や地域の問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください） この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト この Web サイトを表示するには、http://www.hp.com/support/にアクセスします	● サポート窓口の情報 ● 部品の購入とその他のヘルプの確認 ● ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート ● コンピューターのオプション製品に関する情報

リソース	提供される情報
限定保証* オンラインの保証を表示するには、以下の操作を行います。 **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**→**[保証に関する情報の確認]**の順に選択します または **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/go/orderdocuments/から[日本（日本語）]を選択します	保証に関する情報

*お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されているドキュメントまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間（シリアル番号ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

重要： 上記の住所にお使いの HP 製品を返送しないでください。製品サポートについては、お使いの製品のホーム ページ（http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html）を参照してください。

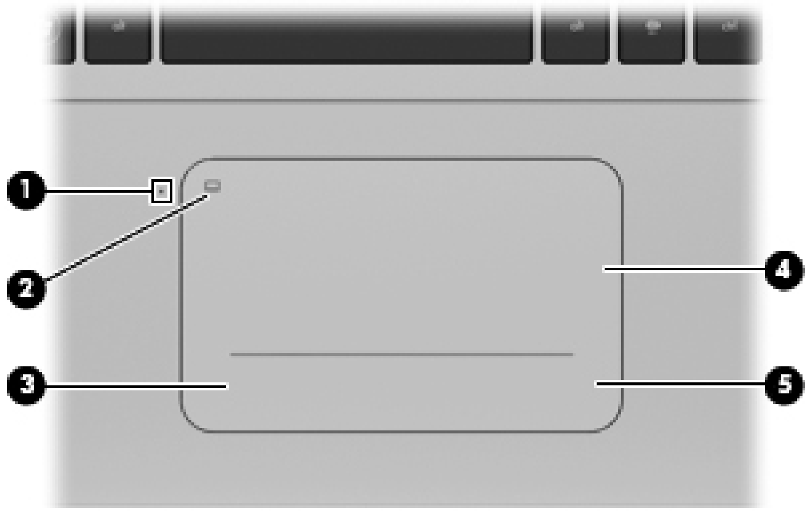
2　コンピューターの概要

この章では、以下の項目について説明します。

- 表面の各部
- 前面の各部
- 右側面の各部
- 左側面の各部
- ディスプレイの各部
- 裏面の各部

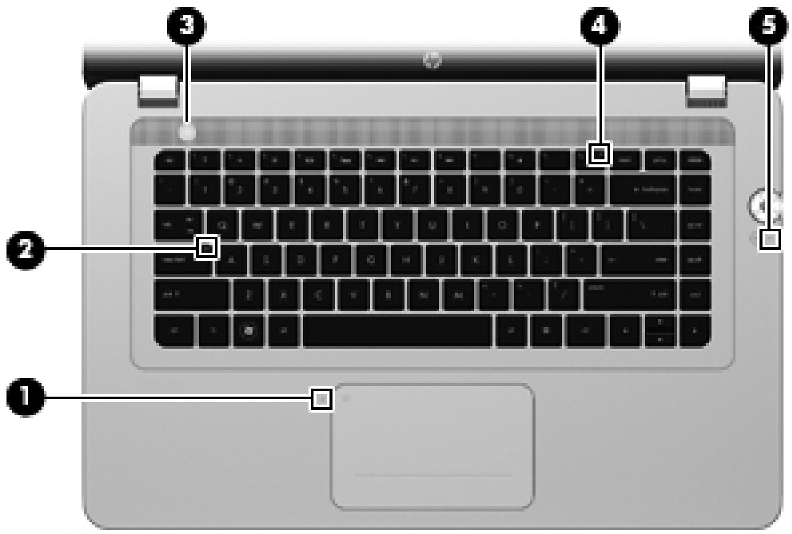
表面の各部

イメージパッド



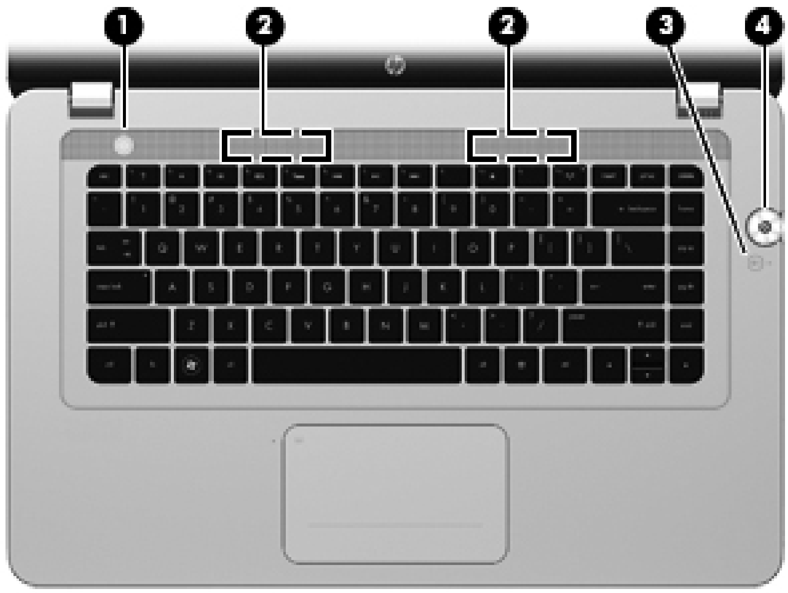
名称		説明
(1)	イメージパッド ランプ	● オレンジ色：イメージパッドがオフになっています ● 消灯：イメージパッドがオンになっています
(2)	イメージパッド オン/オフ切り替え機能	イメージパッドをオンまたはオフにするには、このエリアをすばやくダブルタップします
(3)	左のイメージパッド ボタン	イメージパッドの左下隅は、外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4)	イメージパッド ゾーン	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(5)	右のイメージパッド ボタン	イメージパッドの右下隅は、外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ



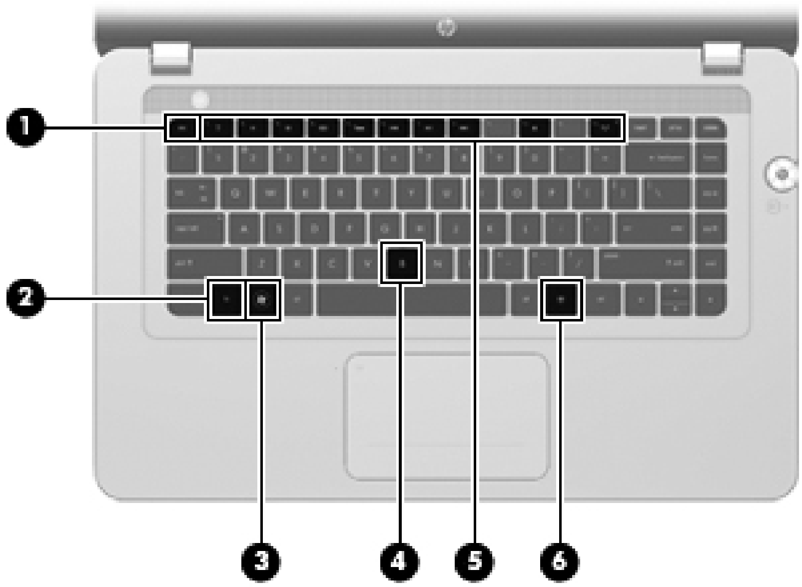
名称			説明
（1）		イメージパッド ランプ	• オレンジ色：イメージパッドがオフになっています • 消灯：イメージパッドがオンになっています
（2）		Caps Lock ランプ	• 白色：Caps Lock がオンになっています • 消灯：Caps Lock がオフになっています
（3）		電源ランプ	• 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
（4）		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスなどの内蔵無線デバイスが有効になっています **注記：** 無線デバイスは、出荷時に有効に設定されています • オレンジ色：すべての無線デバイスが無効になっています
（5）		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色：スピーカーのサウンドがオフになっています • 消灯：スピーカーのサウンドがオンになっています

ボタンおよびスピーカー



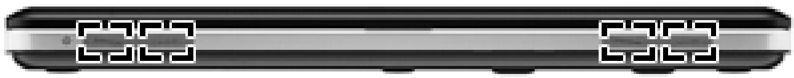
名称			説明
(1)		電源ボタン	● コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます ● コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→**システムとセキュリティ**→[**電源オプション**]の順に選択するか、または『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照します
(2)		ステレオ スピーカー（×2）	HP Beats Audio スピーカーでサウンドを出力します
(3)		ミュート（消音）ボタン	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
(4)		[HP Beats Audio]ボタン	オーディオ設定と低音設定を表示できる[HP Beats Audio Control Panel]（HP Beats Audio コントロール パネル）を開きます [HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ機能です **注記：** [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**Beats Audio Control Panel**]（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択して、[HP Beats Audio Control Panel]を開くこともできます

キー



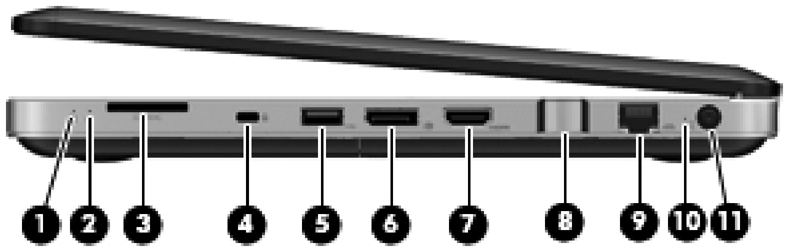
名称			説明
(1)		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー	以下の機能を実行します ● esc キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します ● b キーと組み合わせて押すことによって、[HP Beats Audio]の有効/無効が切り替わります
(3)		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)		b キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、[HP Beats Audio]の有効/無効が切り替わります
(5)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(6)		Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します

前面の各部



名称	説明
ステレオ スピーカー（×4）	HP Beats Audio スピーカーでサウンドを出力します

右側面の各部



名称			説明
(1)		ハードドライブ ランプ	• 白色で点滅：ハードドライブにアクセスしています • オレンジ色：HP プロテクトスマート テクノロジーによってハードドライブが一時停止しています **注記：** HP プロテクトスマート テクノロジーによるハードドライブの保護について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
(2)		電源ランプ	• 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(3)		メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています • マルチメディアカード • SD（Secure Digital）メモリーカード • Secure Digital High Capacity メモリーカード
(4)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(5)		USB 2.0 コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(6)		DisplayPort	高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します
(7)	HDMI	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイスまたは対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(8)		音量ダイヤル	スピーカーの音量を調整します 音量を上げるにはダイヤルを時計回りに、音量を下げるにはダイヤルを反時計回りに回します
(9)		RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

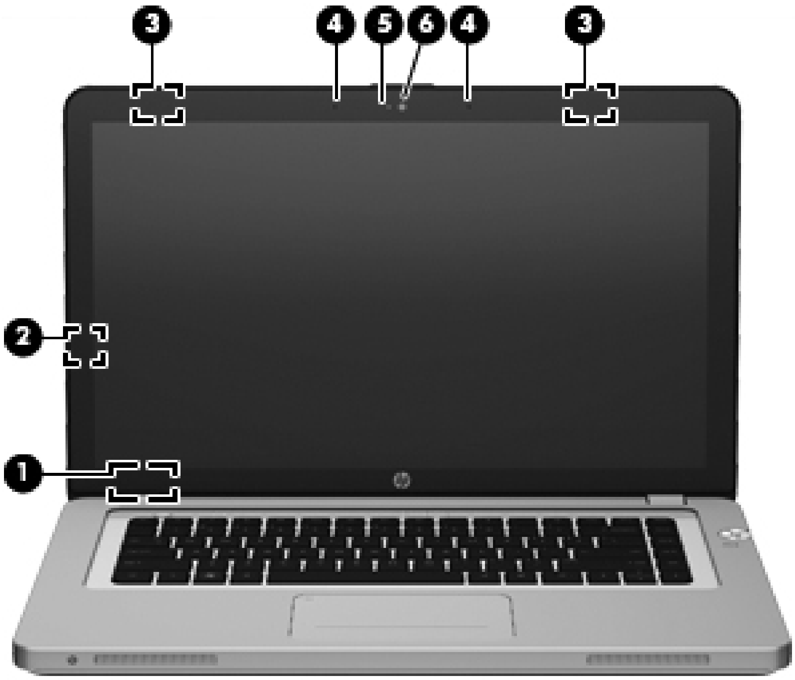
名称			説明
（10）		AC アダプター ランプ	● 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は完了しています ● オレンジ色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリが充電中です ● オレンジ色で点滅：コンピューターが外部電源に接続されてバッテリ エラーが発生しているか、バッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっています ● 消灯：お使いのコンピューターはバッテリ電源で動作しています
（11）		電源コネクタ	AC アダプターを接続します

左側面の各部



名称		説明
(1)	オプティカル ドライブ	オプティカル ディスクの読み取りおよび書き込みを行います **注意：** コンピューターの損傷を防ぐため、小さい（直径 8 cm の）オプティカル ディスクをドライブに挿入しないでください
(2)	USB 3.0 充電用コネクタ	別売の USB 3.0 デバイスを接続し、拡張された USB 電源のパフォーマンスを提供します。USB 3.0 充電用コネクタでは、コンピューターの電源が入っていないときでも、一部のモデルの携帯電話や MP3 プレーヤーを充電することも可能です
(3)	USB 3.0 コネクタ（×2）	別売の USB 3.0 デバイスを接続し、拡張された USB 電源のパフォーマンスを提供します **注記：** また、USB 3.0 コネクタは USB 1.0 および 2.0 のデバイスにも対応しています
(4)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売または市販のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(5)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（×2）	外付けオーディオ デバイスがどちらか一方のコネクタに接続されている場合にサウンドを出力します。両方のステレオ ヘッドフォン コネクタは信号増幅器に接続され､外付けスピーカー、ヘッドフォン、およびその他のオプション製品でのオーディオ再生が向上します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** どちらか一方のコネクタにデバイスが接続されていると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります

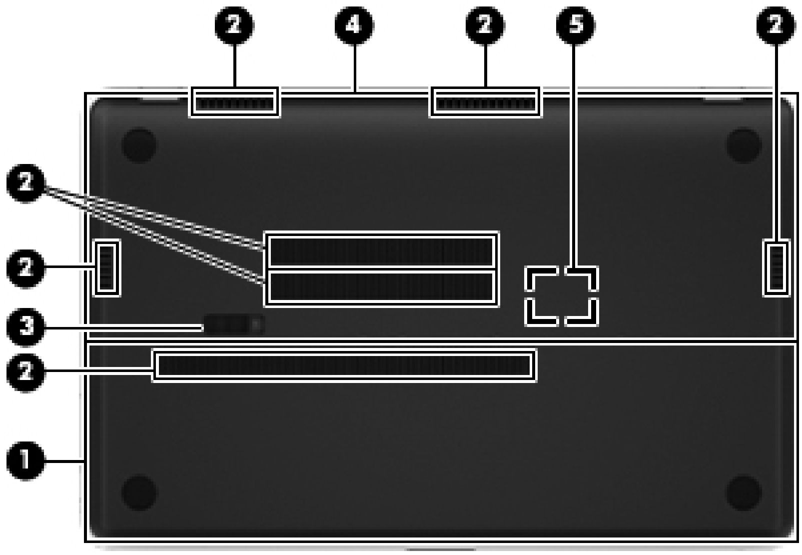
ディスプレイの各部



名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れてスリープが開始します 注記： 内蔵ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	近接センサー	ユーザーがコンピューターの前にいるかどうかを検出し、ユーザーとコンピューターの距離に応じて輝度調節機能付きキーボードのオン/オフを切り替えます
(3)	無線 LAN アンテナ（×2）*	最大 3 つの内蔵アンテナを使用して、ローカルの無線ルーターまたはハブにネットワーク信号を送受信します
(4)	内蔵マイク（×2）	内蔵マイクを使用して、特定のアプリケーションによってオーディオを録音します。周囲の騒音を低減し、エコーを除去することで、自動的にオーディオの質を向上させます
(5)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラが有効です
(6)	HP TrueVision HD Webcam	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[CyberLink]**→**[CyberLink YouCam]**の順に選択します

*アンテナおよび赤外線エミッターはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナおよび赤外線エミッターの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

裏面の各部



名称		説明
(1)	ハードドライブ カバー	ハードドライブにアクセスできます
(2)	通気孔（×7）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(3)	リリース ラッチ	ハードドライブ カバーの固定を解除します
(4)	保守用アクセス カバー	メモリ モジュール スロットへのアクセスを提供します
(5)	HP Triple Bass Reflex Subwoofer（HP トリプル バス リフレックス サブウーファー）	優れた低音を再生します

3 ネットワーク

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用
- 無線ネットワークへの接続

注記： インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

お使いのコンピューターは、以下のどちらか 1 つまたは両方のインターネット アクセスに対応できます。

- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。26 ページの「既存の無線 LAN への接続」または26 ページの「新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ」を参照してください。
- 有線：有線ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。有線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

インターネットに接続する前に、ISP アカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業へのサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

以下の機能で、新しいインターネットのアカウントを作成したり、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりできます。

- **ISP 提供のアイコン（一部の地域で利用可能）**：これらのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されています。新しいインターネット アカウントをセットアップしたりコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりするには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows のインターネットへの接続ウィザード**：以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。
  - すでに ISP のアカウントを持っている場合
  - インターネット アカウントを持っていないためウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
  - 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

  Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびこのウィザードの使用手順を表示するには、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]の順に選択します。

  注記： ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス
- HP モバイル ブロードバンド モジュール、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス
- Bluetooth®デバイス

無線技術および無線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、[ヘルプとサポート]の情報、および Web サイトへのリンクを参照してください。

既存の無線 LAN への接続

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
3. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
4. 接続先となるネットワークを選択します。
5. [**接続**]をクリックします。
6. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

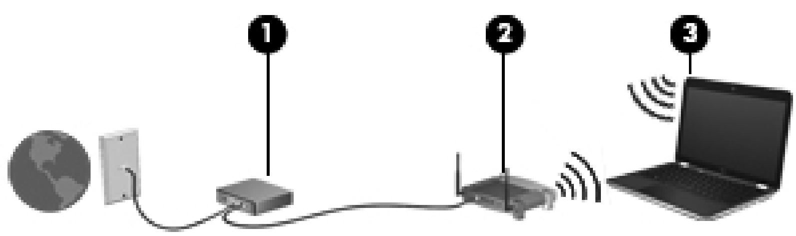
新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ

以下の機器が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）（**2**）
- お使いの新しい無線コンピューター（**3**）

注記： モデムは内蔵ルーターに含まれている場合があります。ISP に問い合わせてモデムの種類を確認してください。

下の図は、インターネットに接続している無線 LAN ネットワークの設置例を示しています。お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。



無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

Windows オペレーティング システムでは、新しい無線ネットワークのセットアップに役立つツールも用意されています。Windows のツールを使用してネットワークを設定するには、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]→[**新しいネットワークのセットアップ**]の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。

注記： 最初にルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できたら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスできます。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。

無線 LAN の保護について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

4 キーボードおよびポインティング デバイス

この章では、以下の項目について説明します。

- キーボードの使用
- ポインティング デバイスの使用

キーボードの使用

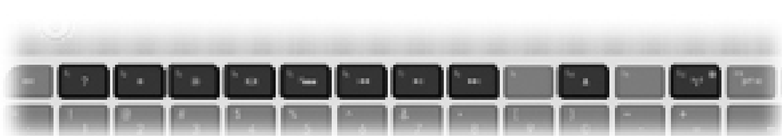
操作キーの使用

操作キーとは、カスタマイズされた動作を行うために使用するキーのことで、それらの動作はキーボード上部にある特定のキーに割り当てられています。

f1～f8、f10、および f12 の各キーのアイコンは、操作キーの機能を表します。機能を有効にするには、そのキーを押したままにします。

操作キーの機能を無効にして、標準設定に戻すことができます。標準設定を使用するときは、fn キーを押しながらファンクション キーの 1 つを押すことで、そのファンクション キーに割り当てられている機能を有効にします。操作キーの機能を無効にする手順については、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』の「セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断」の章を参照してください。

⚠ **注意：** 設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。



アイコン	キー	説明
?	f1	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューターに関する情報、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターへのアップデート ファイルなどが提供されます また、自動的なトラブル解決の方法およびサポート サイトへのリンクも提供されます
	f2	画面の輝度を下げます

アイコン	キー	説明
	f3	画面の輝度を上げます
	f4	コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるため、以下の選択内容を表示します • コンピューターのみ：外付けディスプレイへの表示をオフにして、画像をコンピューターのディスプレイのみで表示します • 複製：コンピューター本体のディスプレイに表示されている画像と同じものを、コンピューターに接続されている外付けディスプレイにも表示します • 拡張：コンピューター本体のディスプレイと接続されているすべての外付けディスプレイに渡って画像を拡張します • プロジェクターのみ：コンピューター本体のディスプレイの電源を切り、接続されているすべての外付けディスプレイに渡って画像を拡張します
	f5	輝度調節機能付きバックライト キーボード機能をオンまたはオフにします **注記：** バッテリ電源を節約するには、この機能をオフにします。輝度の低、中、高を切り替えるには、上向き矢印キーまたは下向き矢印キーと組み合わせて、キーボードのバックライト操作キー（f5）を押したままにします
	f6	オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターを再生します
	f7	オーディオ CD や DVD を再生、一時停止、または再開します
	f8	オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターを再生します
	f10	オプティカル ドライブからディスクを取り出します
	f12	無線ネットワーク、無線ディスプレイ、および無線オーディオを含む、すべての無線機能をオンまたはオフにします **注記：** このキーでは無線接続は確立されません。無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります

ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。

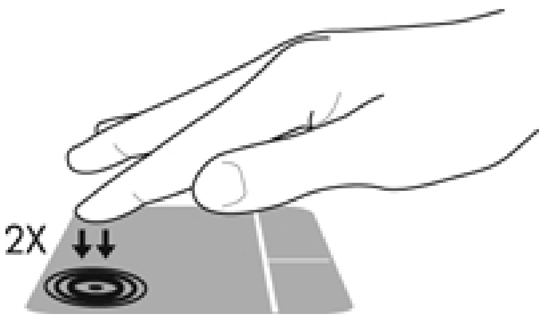
イメージパッドの使用

先進のイメージパッドは、高い精度を保ちながらジェスチャが利用しやすく、マウスの代用として従来のタッチパッドに置き換わるものです。ポインターを移動するには、イメージパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。左のイメージパッド ボタンと右のイメージパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

イメージパッドのオン/オフの切り替え

イメージパッドをオンまたはオフにするには、イメージパッドの左上隅のエリアをすばやくダブルタップします。

注記： イメージパッドがオンになっているときは、イメージパッド ランプは消灯しています。

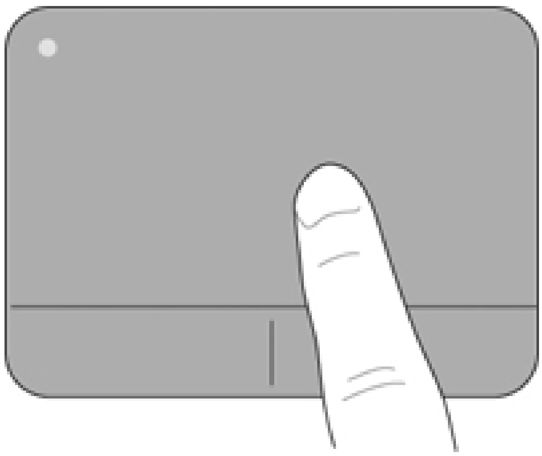


イメージパッド ランプと画面に表示されるアイコンは、イメージパッドの状態を示します。

イメージパッド ランプ	アイコン	説明
オレンジ色		イメージパッドがオフになっていることを示します
消灯		イメージパッドがオンになっていることを示します

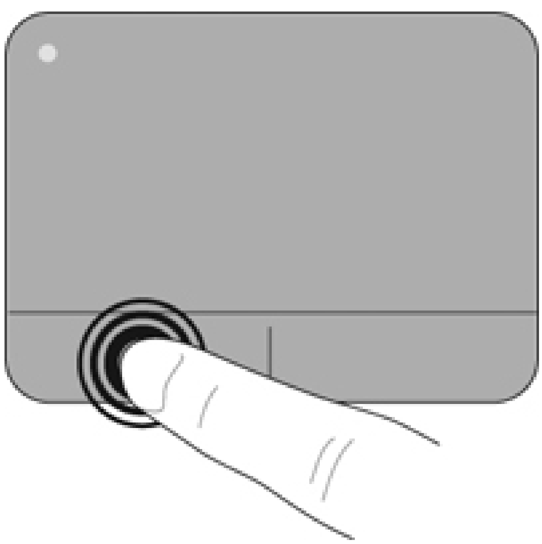
移動

ポインターを移動するには、イメージパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。



選択

左のイメージパッド ボタンと右のイメージパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。



イメージパッド ジェスチャの使用

イメージパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。イメージパッド ジェスチャを使用するには、2 本の指を同時にイメージパッド上に置きます。

注記： コンピューターのプログラムによっては、一部のイメージパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Synaptics ClickPad]**（シナプティクス クリックパッド）の順に選択します。
2. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

ジェスチャのオン/オフを切り替えるには、以下の操作を行います。

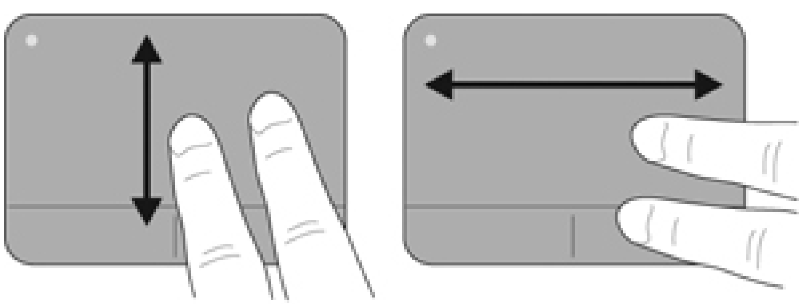
1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Synaptics ClickPad]**の順に選択します。
2. ジェスチャをオンにするには、ジェスチャの横のチェック ボックスにチェックを入れます。ジェスチャをオフにするには、ジェスチャの横のチェック ボックスのチェックを外します。
3. **[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下左右に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を少し離してイメージパッド上に置き、イメージパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

注記： スクロールは、出荷時に有効に設定されています。

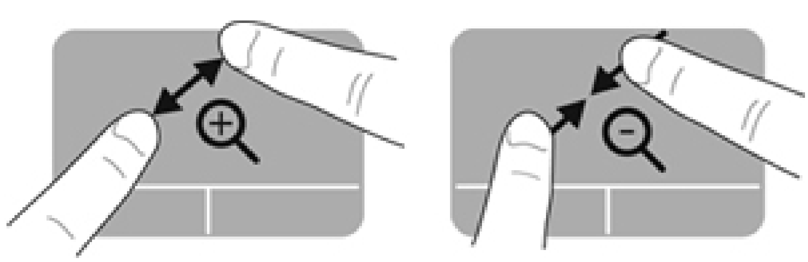


ピンチ/ズーム

ピンチを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

- イメージパッド上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームインできます。
- イメージパッド上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウトできます。

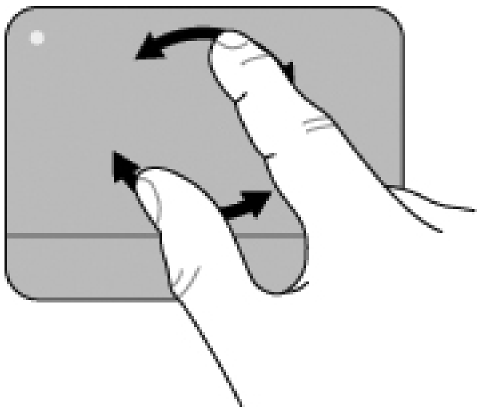
注記： ピンチ/ズーム ジェスチャは、出荷時に有効に設定されています。



回転

回転ジェスチャを使用すると、写真などの項目を回転できます。2 本の指を離してイメージパッド上に置いてから、指の間に一定の間隔を保ちながら弧を描くようにして指を回転させます。左方向に弧を描くように動かすと、操作の対象が左方向に回転します。右方向に弧を描くように動かすと、操作の対象が右方向に回転します。

注記： 回転ジェスチャは、出荷時に有効に設定されています。



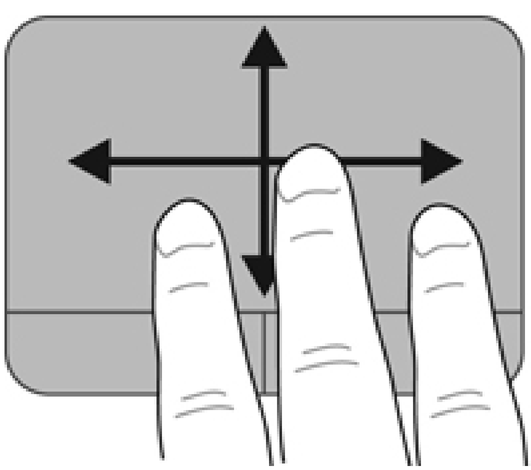
フリック

フリックを使用すると、以下の機能をすばやく実行できます。

- インターネットを参照する。
- 写真ビューアーで写真をスクロールする。
- 画面を切り替える。
- ドキュメントをスクロールする。
- 写真ビューアーでスライドショー モードを開始または終了する。

フリックを行うには、3 本の指をイメージパッドに置いて、上、下、左、または右方向に払いのけるようにすばやく動かします。

注記： 3 本指フリックは、出荷時に有効に設定されています。



5 メンテナンス

この章では、以下の項目について説明します。

- 出荷時に封印されているバッテリの使用
- ハードドライブの交換またはアップグレード
- メモリ モジュールの追加または交換

出荷時に封印されているバッテリの使用

重要： 出荷時にコンピューターに装着および封印されているバッテリは、ご自身で取り外したり交換したりしないでください。バッテリの封印シールが破損していると保証が適用されません。

お使いのコンピューターに装着されている充電式バッテリは内蔵型で、ユーザーが着脱するタイプのものではありません。バッテリの交換は、必ず HP のサポート担当者にご依頼ください。バッテリの寿命は使用環境により異なりますが、使用開始から 1 年が目安となり、使用を繰り返すと徐々に劣化して、バッテリ容量が低下していきます。バッテリを良好な状態に保つ方法について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。このガイドを表示するには、[**スタート**]→[**すべてのプログラム**]→[**HP**]→[**HP ドキュメント**]の順に選択します。バッテリの状態を監視する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP ヘルプとサポート]で[HP バッテリ チェック]を実行してください。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換についてサポート窓口にお問い合わせください。

ハードドライブの交換またはアップグレード

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。

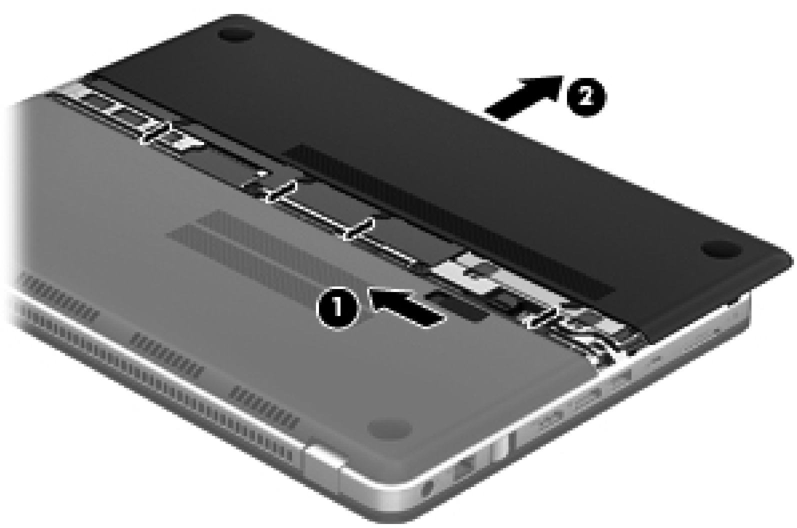
コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押して、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

注記： コンピューターに取り付けられているドライブの種類を確認するには、[**スタート**]をクリックし、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順にクリックします。

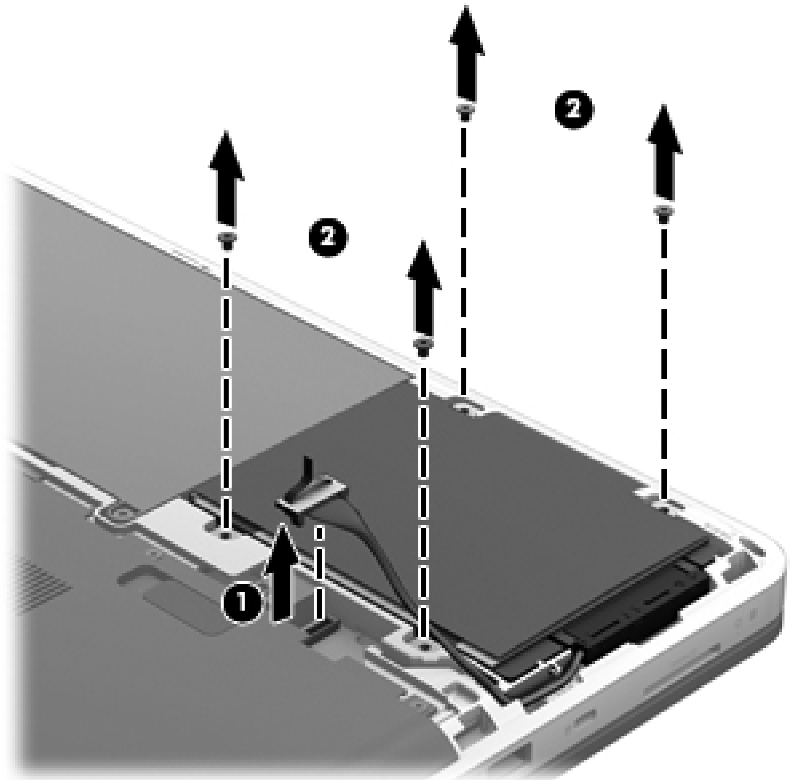
注記： ハードドライブを交換する場合は、ハードドライブのブラケットおよびカバーを保管していることを確認してください。新しいハードドライブを取り付けるときに、これらの部品を取り付けなおす必要が生じる場合があります。

ハードドライブの取り外し

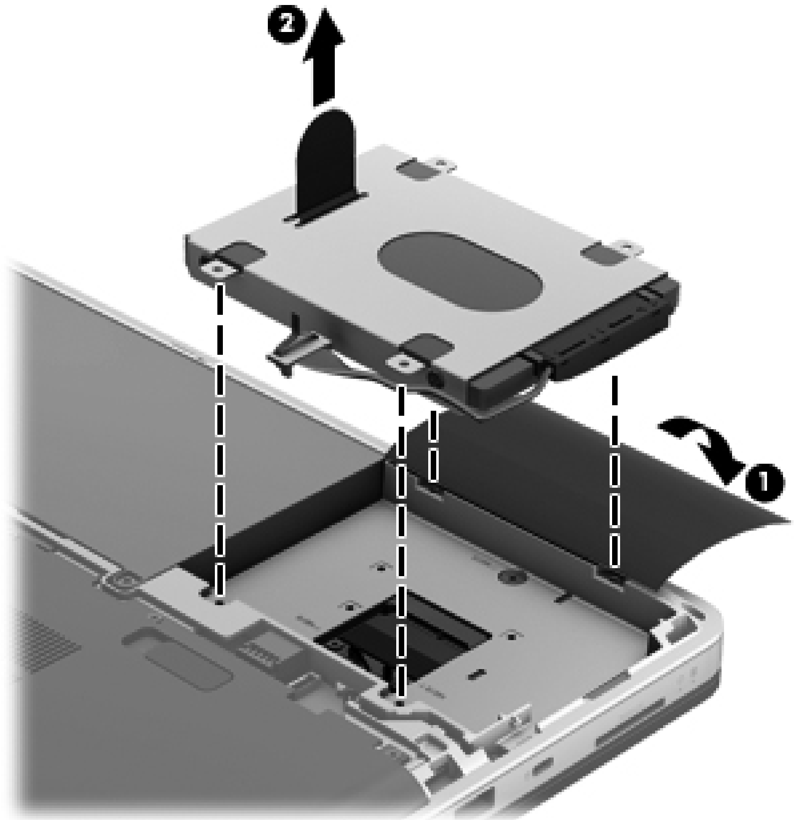
1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. コンピューターから外部電源を切断します。
4. リリース ラッチをスライドさせ（**1**）、ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。



5. コンピューターからハードドライブ ケーブルを取り外し（**1**）、ハードドライブの 4 つのネジ（**2**）を取り外します。

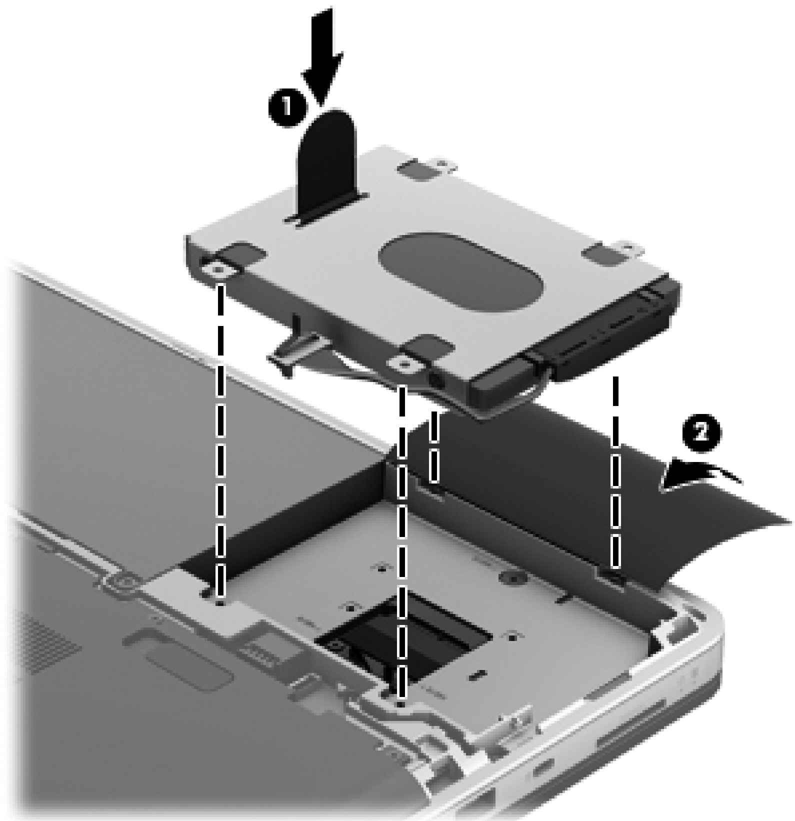


6. プラスチック製のカバーを引き上げて取り外し（**1**）、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り出します（**2**）。

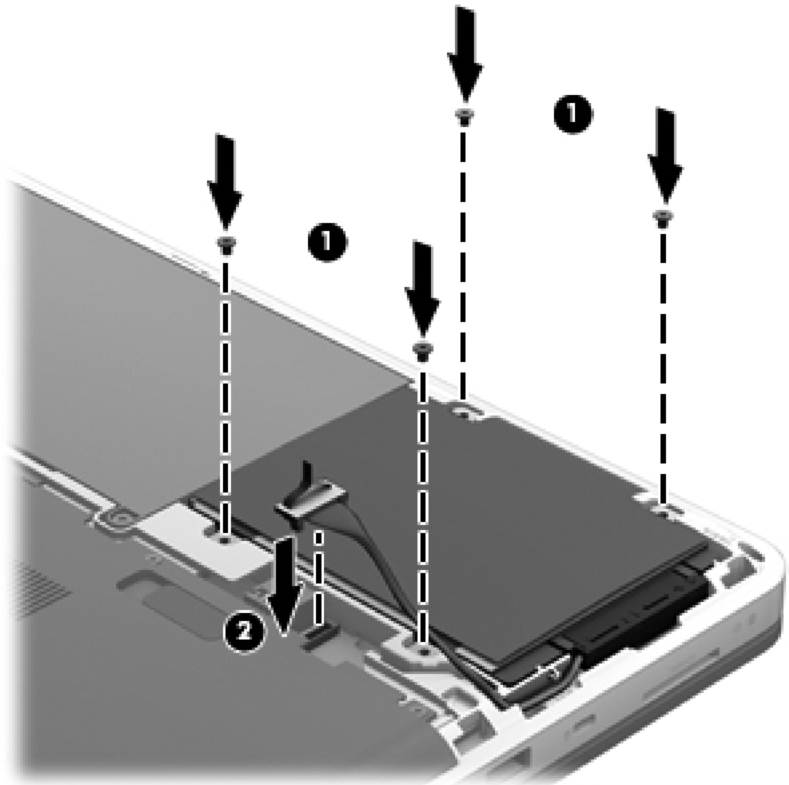


ハードドライブの取り付け

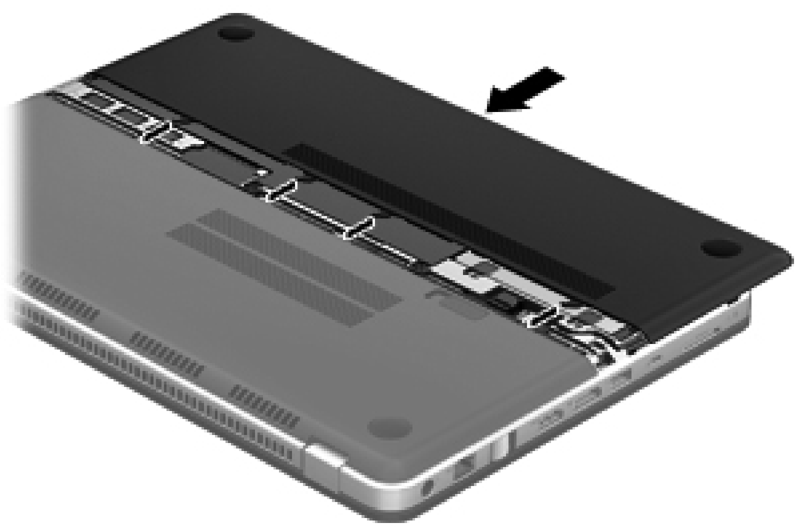
1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入し（**1**）、プラスチック製のカバーを取り付けなおします（**2**）。



2. ハードドライブの 4 つのネジ（**1**）を取り付け、コンピューターにハードドライブ ケーブルを接続します（**2**）。



3. ハードドライブ カバーのタブをコンピューターのくぼみに合わせ、カバーをくぼみまでスライドさせます。リリース ラッチでカバーが自動的に固定されます。



4. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

5. コンピューターの電源を入れます。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには、2 つのメモリ モジュール スロットが装備されています。メモリ モジュール スロットは、コンピューター裏面の保守用アクセス カバーの下に装備されています。コンピューターのメモリ容量を増やすには、メモリ モジュールを追加するか、またはメモリ モジュール スロットのどちらかに装着されているメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： 2 つ目のメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2 つのメモリ モジュールを必ず同一のものにしてください。

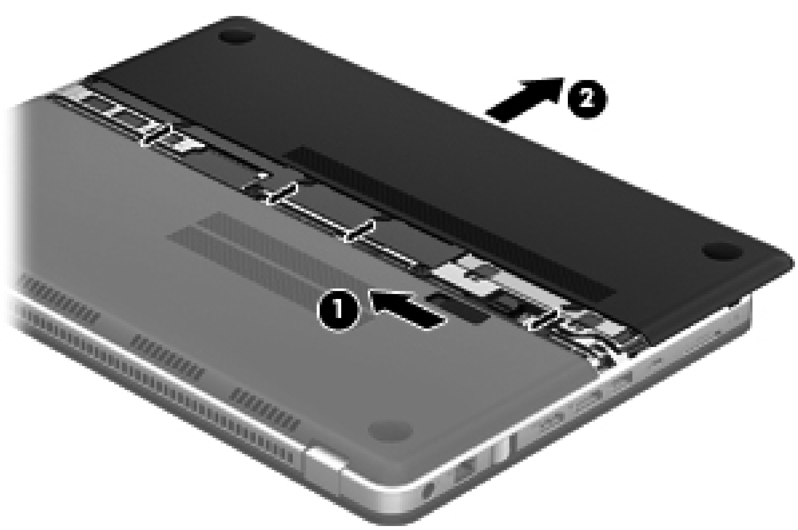
メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

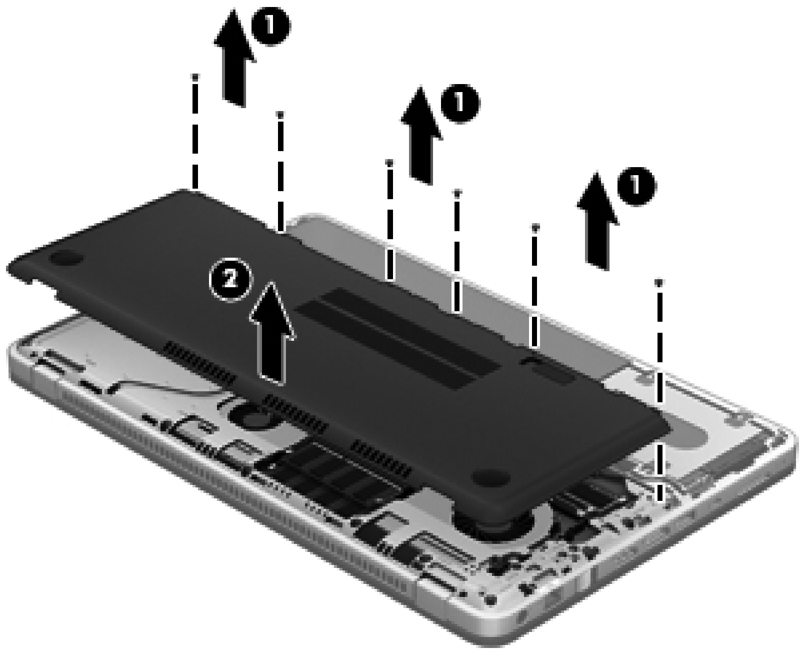
コンピューターからメモリ モジュールを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押して、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. コンピューターから外部電源を切断します。
4. リリース ラッチをスライドさせ（**1**）、ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。



5. 6 つの保守用アクセス カバーのネジを取り外し（**1**）、カバーを取り外します（**2**）。



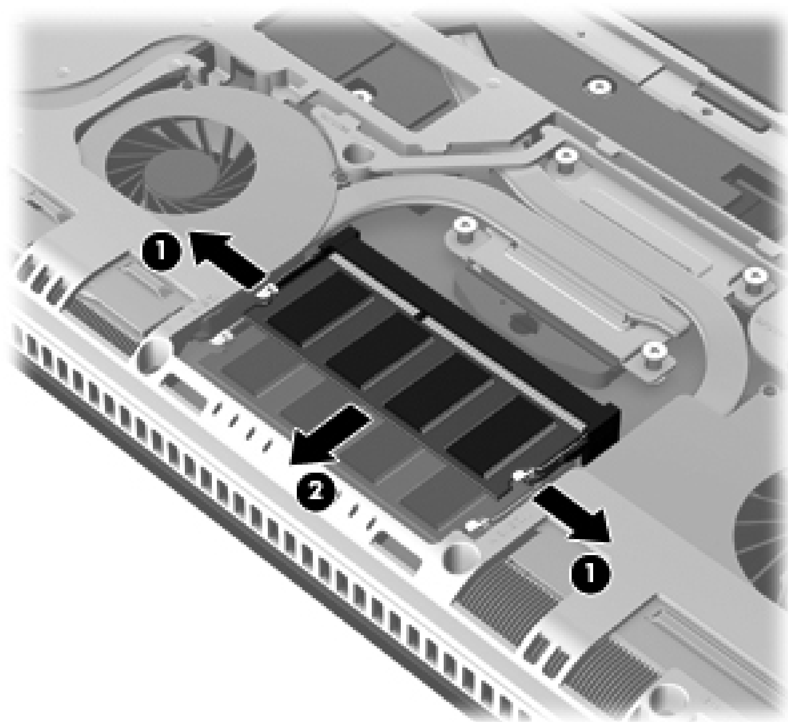
6. メモリ モジュールを交換する場合は、以下の要領で装着されているメモリ モジュールを取り外します。

   a. メモリ モジュールの両側にある留め具（**1**）を左右に引っ張ります。

      メモリ モジュールが少し上に出てきます。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて（**2**）取り外します。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



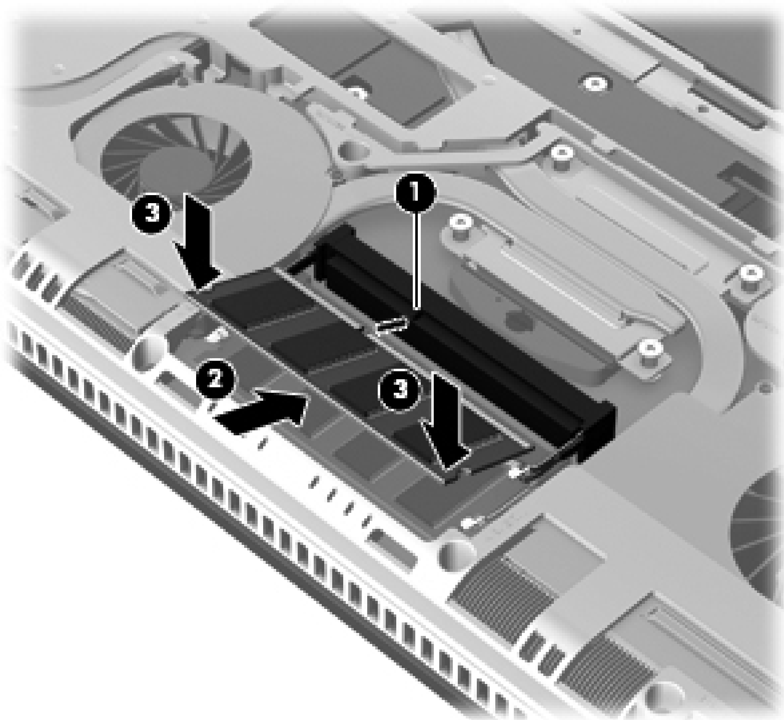
7. 以下の要領で、新しいメモリ モジュールを取り付けます。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

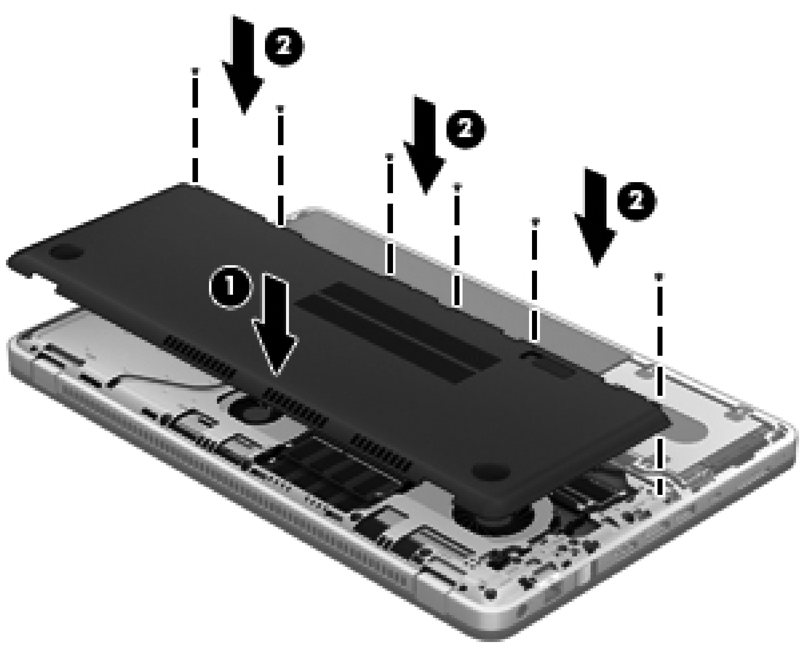
b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

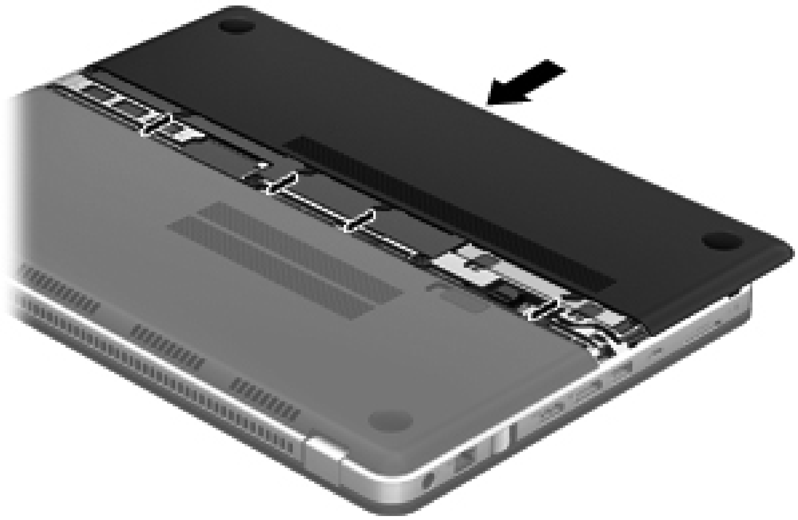


8. 保守用アクセス カバーのネジ穴をコンピューターの穴に合わせ、コンピューターの上にカバーを下ろします（**1**）。

9. 6 つの保守用アクセス カバーのネジを取り付けなおします（**2**）。



10. ハードドライブ カバーのタブをコンピューターのくぼみに合わせ、カバーをくぼみまでスライドさせます。リリース ラッチでカバーが自動的に固定されます。



11. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

12. コンピューターの電源を入れます。

6　バックアップおよび復元

お使いのコンピューターには､オペレーティング システムに付属のツールおよび HP が提供しているツールが含まれています。これらを使用すると障害発生時に情報を保護および復元できます。

この章には、以下のトピックに関する情報が含まれています。

- リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成（[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアの機能）
- （復元用パーティション、リカバリ ディスク、またはリカバリ フラッシュ ドライブからの）システムの復元の実行
- 情報のバックアップ
- プログラムまたはドライバーの復元

復元

ハードドライブに障害が発生した場合にシステムを工場出荷時の状態に復元するには、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成したリカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを使用する必要があります。ソフトウェアをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用して、リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。

ハードドライブ障害以外の理由からシステムを復元する必要がある場合は、HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用できます。この場合、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュドライブは必要ありません。復元用パーティションの有無を確認するには、[**スタート**]をクリックし、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウにリカバリ ドライブが表示されます。

注意： [HP Recovery Manager]（パーティションまたはディスク/フラッシュ ドライブ）は、工場出荷時にインストールされていたソフトウェアのみを復元します。このコンピューターにインストールされていなかったソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。

注記： 復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。

リカバリ メディアの作成

ハードドライブに障害が発生した場合または何らかの理由で復元用パーティション ツールを使用して復元できない場合に、コンピューターを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクセットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成できるリカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 セットのみです。リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。

注記： お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。外付けオプティカル ドライブを使用する場合は、USB ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに直接接続する必要があります。

ガイドライン：

- 高品質な DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを購入してください。

  注記： [HP Recovery Manager]ソフトウェアは、CD-RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。

  注記： リカバリ ディスクを作成する場合は、各ディスクに番号を付けてからオプティカル ドライブに挿入します。

- 必要に応じて、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、バックアップ作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成するには、以下の操作を行います。

1. **［スタート］**→**［すべてのプログラム］**→**[HP]**→**［HP Recovery Manager］**（HP リカバリ マネージャー）→**［HP Recovery Media Creation］**（HP リカバリ メディアの作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

システムの復元の実行

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスク、リカバリ フラッシュ ドライブ、またはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。

注記： コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合や、コンピューターの動作上の問題を修正しようとする試みがすべて失敗した場合は、システムの復元を実行する必要があります。システムの復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。

システムの復元を実行する場合は、以下の点に注意してください。

- システムの復元は、以前バックアップを行ったシステムに対してのみ可能です。コンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用してリカバリ ディスクのセットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。
- Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。
- [HP Recovery Manager]では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクなどを使用して、別途、再インストールする必要があります。

専用の復元用パーティションを使用した復元（一部のモデルのみ）

専用の復元用パーティションを使用する場合、復元処理中にオプションで以下のもののバックアップを実行できます：画像、音楽およびその他のオーディオ、ビデオや動画、録画したテレビ番組、ドキュメント、スプレッドシートおよびプレゼンテーション、電子メール、インターネットのお気に入りおよびインターネット設定

復元用パーティションからコンピューターを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
   - **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[HP Recovery Manager]**の順に選択します。

     または

   - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。次に、画面に[F11 (System Recovery)]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
2. [HP Recovery Manager]ウィンドウの**[System Recovery]**（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

リカバリ メディアを使用した復元

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをお使いのコンピューターのオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   または

   お使いのコンピューターの USB コネクタにリカバリ フラッシュ ドライブを挿入してから、コンピューターを再起動します。

注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更する必要があります。詳しくは、50 ページの「コンピューターのブート順序の変更」を参照してください。

3. システムの起動時に f9 キーを押します。
4. オプティカル ドライブまたはフラッシュ ドライブを選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

リカバリ ディスクのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを再起動します。
2. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
3. [Boot options]（ブート オプション）ウィンドウで、[**Internal CD/DVD ROM Drive**]（内蔵 CD/DVD ROM ドライブ）を選択します。

リカバリ フラッシュ ドライブのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. フラッシュ ドライブを USB コネクタに挿入します。
2. コンピューターを再起動します。
3. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
4. [Boot options]ウィンドウで、フラッシュ ドライブを選択します。

情報のバックアップおよび復元

ファイルをバックアップして新しいソフトウェアを安全な場所に保管することは、非常に重要です。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にバックアップを作成しておくようにします。

システムをよりよく復元するためには、より新しいバックアップが必要です。

注記： コンピューターがウィルスの攻撃を受けている場合や、主要なシステム コンポーネントが故障した場合は、最新のバックアップから復元を実行する必要があります。コンピューターの問題を修正するには、システム全体の復元を試みる前に、バックアップを使用した復元を試みてください。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

  ヒント： 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

ガイドライン：

- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にオプティカル ディスクまたは外付けハードドライブにコピーします。システムの復元ポイントの使用方法について詳しくは、52 ページの「Windows システムの復元ポイントの使用」を参照してください。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーン ショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をもう一度入力する必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

スクリーン ショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
2. 画面のイメージをコピーします。

   アクティブなウィンドウだけをコピーするには、alt ＋ prt sc キーを押します。

   画面全体をコピーするには、prt sc キーを押します。
3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[**編集**]→[**貼り付け**]の順に選択します。画面のイメージが文書に追加されます。
4. 文書を保存して印刷します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

ガイドライン：

- お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。
- 処理完了まで十分な時間の余裕があるときにバックアップ処理を行います。ファイル サイズによっては、処理に 1 時間以上かかる場合があります。

バックアップを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[バックアップと復元]**の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップのスケジュール設定とバックアップの作成を行います。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

Windows システムの復元ポイントの使用

システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後に変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

注記： 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアまたはハードウェアを追加/変更する前
- コンピューターが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

システムの復元ポイントの作成

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. [**作成**]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. [**システムの復元**]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

7 サポート窓口

この章では、以下の項目について説明します。

サポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイド、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、または[ヘルプとサポート]で提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の HP サポート窓口または『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されているサポート窓口にお問い合わせください。

http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html

注記： 日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする。

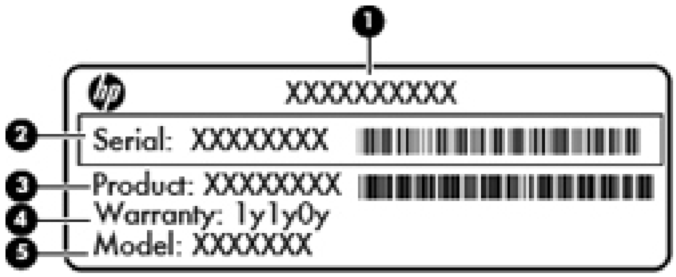
  注記： 特定の言語でサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる。
- 各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べる。
- HP のサービス センターを探す。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- シリアル番号ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



名称	
（1）	製品名
（2）	シリアル番号（s/n）
（3）	製品番号（p/n）
（4）	保証期間
（5）	モデルの説明

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。シリアル番号ラベルは、ハードドライブ ベイ内に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Microsoft Certificate of Authenticity はコンピューターの裏面にあります。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、ハードドライブ ベイの内部に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。無線デバイスを 1 つ以上使用している機種には、認定ラベルが 1 つ以上貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルはハードドライブ ベイの内側に貼付されています。

8 仕様

入力電源

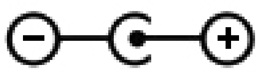
ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧と電流	19.5 V DC（6.15 A、120 W の場合）
	19.5 V DC（4.62 A、90 W の場合）

HP 外部電源用 DC プラグ



注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	メートル	U.S.
温度		
動作時	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～140°F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

索引